

## 人間とは何か

なごやかクリニック院長

岡田恒良

「なづき」という語を調べると、脳=腦という文字が示されます。脳=ノウという読みは音読みですから、脳の訓読みが「なづき」というわけです。日本人は、脳を名が付くところとして定義していたわけです。これはとても面白いことです。英語のブレイン=brain や、ラテン語やフランス語の cerebrem、ドイツ語の gehirn などには、名という概念は全く含まれていません。もちろん漢字の「腦」も、にくづきに髪の毛と頭の形から形成された文字であることから、名との関連はありません。

また「命名」という日本語から、赤子に対する名付けを、命付けることであると捉えていることがわかります。赤子の脳に名を幾度も呼びかけて、名を植え付けるのです。これが命を吹き込む行為であり、形成過程でどうしても必要な行為なのです。ですから命名とは一度のことではなく、生後数年間にわたって赤子に対して呼びかける地道な作業のことでもあるのです。

さて人体はと言うと、確かに出産日に世に出てそれを「誕生日」とも言いますが、それだけでは人にはなれないのです。その人体だけが言葉・文字・数・「名」をその脳に定着させることのできる地上で唯一の生き物なのです。他の動物の脳では「なづき」ができないわけです。ちなみに「誕」の文字を調べると、「嘘」という意味が出てきます。人体の誕生日と名の受け取り日が別だからでしょう。

人体は限られた年数しか耐用期間がなく、やがて朽ちていきます。これは生命体すべてに共通のことで、別段驚くことではないのです。



岐阜県出身、岩手医学大学卒業、医学博士。名古屋大学医学部附属病院などに勤務後、尾西市民病院で9年間外科部長を務めるが、現代医学に行き詰まりを感じて退職し、在宅医療を中心とする「なごやかクリニック」を名古屋市内に開業。その一方、「名古屋醫新の会」主宰し、運動や食養生などによって生命力を増進させ、自然治癒力を高める自然医学を提唱。中区栄のクリニック内に健康づくりの基本を指導するためのミニスタジオを開設し、健康体操、講話などの講座を定期的実施している。

<http://nagoyaka-clinic.net>

生体である人体には死が待っていますが、「名」「言葉」「文字」などには寿命がなく、永遠に続くわけで、永遠の命は「名」の方なのです。鴨長明は方丈記の中で、「ゆく河のながれは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶう

たかた（泡沫）は、かつ消え、かつむすびて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と栖（すみか）と、またかくのごとし。」と無常感を書いています。その一方、河の流れは絶えないと、永遠性をも指摘しており、これが言葉や文字の働きなのです。無常を詠めば詠むほど、その結果としての言葉だけは無常ではなく常＝永遠性を持つという皮肉です。人体が無常であることを嘆きつつも、永遠性を持つ「名」を残そうとしたのが方丈記など文学作品ということができます。

人体にだけは「名」がしっかりと定着し、それは言葉になり文字になり数にもなってやがて言語になります。文字ともなれば半永久的に残すことができます。もっとも古い文字が何か、甲骨文字か、メソポタミア楔型文字か諸説あるようですが、いずれ数千年の保存ができるわけです。文字として残さなくても、言葉は口伝という形式でもっと長く伝えることができるようです。実は文字で伝える事よりも口伝、口承伝の方が確実に正確かもしれないのです。ある北米インディアンの部族は、1万年にわたって部族の歴史を口承伝承してきたそうで、その記録が残っています。口承はそれこそ親から伝えられ、一字一句間違わないように何度も繰り返し繰り返し覚えるまで練習するということです。文字よりも確実に確かであることがわかります。参考(1)

そうしてみると「人体」という乗り物を使って、言語という「文化産物」を永遠に運んでいる、ということができそうです。これには「死」は存在しません。この乗り物さえあれば、荷物は永遠にどこまでも運ばれるのです。これこそが永遠の「命」そのものです。

自己の名が一人歩き

ところがここに厄介な事態が隠れています。つまり繰り返し親から自己の名を名付けされた人体ですが、成長とともにこのことを忘却していきます。あたかも元々その名があったかのように振る舞い、その名が人体を所有してしまうのです。いつの間にかその一つの人体を己のものとおぼえて勘違いし、やがて感情が芽生え言葉の運び手である己の人体をいとおむようになり、その死を恐れるようにもなります。つまり己だけの健康と延命を第一に考えます。自己の人体を他と選別し、つまり自他の区別を明確にしていき、挙句に自己のことだけがその中心になっていきます。こうして自己中心性がどんどん拡大していくと、大きなトラ

ブルの元凶にもなっていきます。

この間の成長過程は、絵に描いたミッキーマウスがアニメになった途端、勝手に動き出してしまった、そんな風にも見えますね。

葉っぱが過成長

人全体を樹木の葉とすれば、葉の一枚一枚は、人体一つ一つに相当します。葉っぱは幹からの栄養を受けて成長し、そののち葉っぱは光合成を通じて幹にも栄養をお返しします。こうして次の葉を育てながら樹木全体の寿命を延ばすことに貢献するのです。

葉っぱの寿命は短くても、樹木そのものの寿命は長く栄えていきます。

しかし今、それが危うくなっています。己だけ大きくなった葉っぱが樹木を犠牲にして全体の成長を邪魔するようになってしまったのです。つまり自己中心性が大きくなるのさばり、格差や差別が高じ、暴力、環境破壊、戦争、核兵器にまで至っています。

人社会は賢いもの、もうこのことに気づいています。名付けをしてくれたもの、名の元に立ち返って、日常を振り返る時期が来ています。そして日本語にはそうしたことを思い出させる鍵が隠されています。参考(2)

参考 (1) 一万年の旅路 ～ネイティブ・アメリカンの口承史～  
ポーラ・アンダーウッド著 星川淳訳  
翔泳社発行

(2) 日本語が世界を平和にするこれだけの理由  
金谷武洋著 飛鳥新社刊

9月15日(土) 名古屋醫新の会に参加し、岡田先生の話を知りました。

「千島学説—腸の重要性」と題して、腸で赤血球が作られる、その赤血球が細胞となり各臓器を形成する。赤血球の性状が悪化してガンになる。小腸の重要性、腸内細菌、そして食べ物が大事という話に、改めて「菜食整腸」に自信を抱かせていただきました。

最後に私も少し話をしますと、大変興味を持って頂き、質問も数々あり、さすが健康を勉強しておられる方々だと感じました。(皆川)

醫新の会は、毎月第3土曜日午後、名古屋市中区栄「なごやかクリニック」に於いて開催されます。



↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。



↑一時間ほどで作ったとは思えないくらい作りもよく、家族でおいしいそうなお料理が完成。

  
 NPO法人  
**有限会社 ネイティブヘルス**  
*Human Native Health Research*

(大阪本部)  
 〒530-0012 大阪市北区芝田 1-12-7 大栄ビル新館 4 階  
 TEL: 06-4802-6880 FAX: 06-4802-6881  
 ●営業時間 9:30~18:30 (土・日は17:00まで)  
 ●定休日 日・木・祝 (予約すれば20:00まで)  
 ●HP <http://nponh.com/> ●E-mail [info@nponh.com](mailto:info@nponh.com)

(六甲サロン)  
 〒657-0811 神戸市灘区長瀬台 2-3-2-501  
 TEL・FAX: 078-871-2987

理事長 杉原信夫 西條 聡 皆川容子 先生

**実体験から**  
**生まれた**  
**生きた**  
**菜食整腸健康法で**  
**身も心もかろやかに**

Vitamin Hインターゲ行く〜



↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

↑お話ししてくださった藤田先生。笑顔もよく前ツラもよく楽しんでおられます。

**会員エディターが行く!**  
**取材先募集!**

**あなたの**  
**お店を**  
 (飲食店など)  
**取材致します。**

「会員エディターが行く!」は、2カ月に一度の開催です。関西よつぱ健康革命の取材に使っていることが可能です。飲食店に限らず、日本の食文化から、健康ヘルスまで情報を集めて大切に報らしている人やお店は大歓迎です!

関西よつぱ連絡会  
 〒987-8827  
 大塚町茨木市南郷町 4-5-4F  
 電話 | 072-630-5610  
 FAX | 072-630-5606  
[tsu@ypp.or.jp](mailto:tsu@ypp.or.jp) | 09時~21時

募集中!

エディター 西井由紀子・柴田小穂  
 イラスト・デザイン ほまきさほま

阪急橋田駅茶屋町口から徒歩3分  
 でネイティブヘルスさんに到着。さつと、野菜たごぷりて火を使わない料理ローフードを、代表の皆川容子さんから習います。野菜にある酵素をそのままに取入れるには、「生」の方がよいとのこと、火を使わない料理は特長です。6品がサツとできました。

メニューは、香煎の和風サラダ、豆腐の山椒味噌湯、生香辛子、トマトサラダ、ガスパチヨバナッパルケーキ。全部「生」です。かー!? 私曰く、いつも野菜たごぷり日の食卓なのだけけれど、ここでは全てに「火を使わない」というのが初体験で新鮮。「体のために」、頑張って食べなくてはならない、カンタンにしてくれるのにおいしいお食事でした。結構のボリュームだった。

リユームだったけど、全部をスロリノおなかいっぱいになるけど、不思議とお腹が膨らまない、体も心も元気にしてくれるお料理でした。

「ここのネイティブヘルスさんに来られる方には、肥満解消、便秘の改善や、ふさふさみみちがちな髪が明るくなるなど、「食を定える」ことで心身の不調から解放される方が多くいらっしゃるとのこと、ベリータッチ（腸もみせ）の体験もついでに心おきくまで Good!」の体験もついでに心おきくまでと田分にOKが出せるような、そんな安心感に落ちた場でした。体調を整えたい方、あらゆる不調は「腸」からくるそうですよ。腸を整えて元気をつくる食事とベリータッチで、元気になれますか?

橋田にある「ネイティブヘルス」さんへ行くことができました。ローフードの料理を教えてもらったり、最近話題の「腸」のことについて、興味を惹きつけた皆川容子さんからお話を聞いたり、腸もみマッサーを体験させていただいたりしました。

まずは、ローフードの作り方から。ここでは、生野菜から生きた酵素を取る食事をおいしく食べられるようにさまざまな味付けが楽しめます。私がびっくりしたのは、「イチゴ」を使ったサラダ。味は、とてもおいしくて、日でも楽しめるものでした。果物も大切な一品なんです。

ローフードは火を使わないので、小一時間でデザートまで完成させるといって大丈夫。今回、みんなでくちや生薬山椒を調味料に使ったので、試食する

と体がポカポカとしてきます。そして、初体験した腸もみマッサーは腸が通っているなという感覚でした。腸を刺激することで自律神経、副交感神経に響くそうです。大腸は水分を吸収し、小腸は栄養を吸収するところなので、小腸の通りをよくすることで健康な体に近づけます。何歳から始めても、効果がわかるそうです。いよいよを食べていても「腸」の栄養吸収がうまくいかないと、逆に体の負担になって健康を害するところもあるのだと知りました。

また、ローフードを覚えておく、災害時、火を使えないときなどに役立つと思います。

(会員エディター 柴田小穂)



**火を使わない料理で**  
**身体と心を**  
**おいしく元気にする**  
**ネイティブヘルスさん**



**もっと**  
**知っておきたい**  
**「腸」のこと**



腸もみマッサー  
 腸を優しくマッサージ  
 腸もみマッサー  
 腸を優しくマッサージ  
 腸もみマッサー  
 腸を優しくマッサージ

腸もみマッサー  
 腸を優しくマッサージ  
 腸もみマッサー  
 腸を優しくマッサージ



# 日本総合医学会 全国大会

ネイティブヘルス認定指導員のNHいしばし・BAL今河・NH寺島が展示ブースに出展し、ベリータッチ腸もみの無料体験、ななこっこ・やさいっこ試食、食品物品販売を行います。NH創始者の皆川容子も応援参加します。

## 日本総合医学会 全国大会2018 プログラム

今回は「第72回東京大会」に相当する大会ですが、全国を視野に入れた大会開催とするため今年度より大会名を「全国大会」といたします。

10:00	開会宣言	大会実行委員長 古矢 勝
	開会挨拶	理事長 安岡 富士子
	開会祝辞	文京区議・プロレスラー 西村 修先生
10:10	講演①	茅原 紘先生 発芽玄米の底力を知ろう!
10:55	講演②	真柄 俊一先生 自然治癒力を引き出してがんを治す
11:55	体験報告①	岩森 久仁子(会員) 乳がんに克つ
12:05	休憩	無料体験・相談コーナー
13:00	体験報告②	齋木 真理子(会員) 手作りの自然生活
13:10	講演③	西邨 マユミ先生 ユニバーサルな食療法
14:00	休憩	無料体験・相談コーナー
15:00	講演④	トークショー 山田 まりや先生・斉藤 純子先生 玄米で体質改善・妊娠・出産・子育て コーディネーター: 岩森 久仁子(会員)
15:55	体験報告③	成岡 佑輔(一般) クローン病・玄米食・心構え
16:05	コメント	会長・大会委員長 山口 康三
16:10	休憩	無料体験・相談コーナー
17:00	閉会宣言	副理事長 古越 裕章
	司会	金子 美子(会員)・古矢 勝

### 無料! 参加型コーナー

- 療法体験・相談コーナー
  - ・血液循環療法
  - ・ピワの薬療法
  - ・三井温熱療法
  - ・脳幹トレーニング 等
- 医師・栄養士によるコーナー
  - ・栄養・食事・健康 相談
  - ・無農薬農家との交流・相談 等
- 学校給食の充実コーナー
  - ・発芽玄米入りご飯給食の例
  - ・食養学院の食育交流コーナー
  - ・会員の食育交流コーナー

大会終了後、会館内別会場にて交流会を行います(当日ご案内)。交流会費5,000円(定員40名)

### 会場

#### 日本教育会館 一ツ橋ホール

- 神保町駅A1出口より徒歩5分(半蔵門線・都営新宿線)
- 竹橋駅1b出口より徒歩7分(地下鉄東西線)
- 九段下駅6番出口より徒歩7分(地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線)

### 入場料

当日4,000円(会員3,000円)  
(前売り券3,500円 10/20振込まで)



### 前売り券申込書

※お弁当予約:玄米おむすび・お茶セット 500円

特定非営利活動法人 日本総合医学会 FAX 03-6902-0677 TEL 03-6902-0678 E-mail info@npn-nsi.com

・下記にご記入の上、このままファクス03-6902-0677にてお申込みください。

・郵便局から郵便振替00120-4-758911口座名「特定非営利活動法人 日本総合医学会」にお振込み下さい。

(振り込み締切日:10/20厳守) ●入金確認後、チケット・お弁当引換券を送付します。

(フリガナ)		会員券	3,000円×( )名
お名前		前売り券	3,500円×( )名
ご住所	〒 -	交流会費	5,000円×( )名
		お弁当予約	500円×( )食
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			

# ナカコ健康サロン 予定表

知識 からだ 心

知識（チ）からだ（カ）こころ（コ）の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日 時間	講師（敬称略） 演題	会 費	備 考
10月15日（月）	<b>波部農園</b> 「枝黒豆狩り・丹波篠山城下町散策」	5,800円	下記参照
10月17日（水） 13:30～15:00	<b>あしたば会</b> 「指導者研修会」		認定指導員
11月4日（日）	日本総合医学会全国大会展示ブース NHいしばし・BAL今河・NH寺島	入場料 4,000円 前売り3,500円	東京日本教育会館 一ツ橋ホール 4頁参照
11月12日（月）～ 15日（木）	<b>日本の心にふれる旅18</b> 「第4回 ネイティブヘルス台湾旅行」 3泊4日 宜蘭・台南・高雄	113,000円	6・7頁参照
11月24日（土）	情報交流サロン会・皆川容子講演 「健康についてー菜食整腸の効果」 研究者・経営者が生活習慣病になったら？		難波 大阪府立大 I-site
12月1日（土）10:30～ 2日（日）10:30～ 3日（月）10:30～	皆川 容子 「ローフードをおせち風に」	2,000円	梅 田 六 甲 六 甲
12月16日（日）～ 17日（月）	<b>ネイティブヘルス望年懇親会</b> ザ グランリゾートエレガント淡路島（温泉）	14,500円	淡路島 8頁参照

予定は、変更する場合があります。 前日までに必ずご予約してください  
 問合せ・予約 電話06-4802-6880 FAX06-4802-6881

## 枝黒豆狩り&丹波篠山城下町

丹波篠山の黒豆は、有名ですが、中でも波部農園は、無農薬栽培で、ふっくらと大きく甘くて大好評の黒豆です。波部様とは甲南以来のお付き合いで、一般の方は全てお断りしている中、特別に枝豆狩りをさせていただきます。秋空の下、畑に座って枝豆をちぎるのも楽しいひと時です。また、篠山城下町をそぞろ歩きしながら、丹波特産の栗・山芋などの買い物も楽しんでいただけたらと思います。

月 日 2018年10月15日（月）

行き先 丹波篠山：波部農園

昼 食 十割蕎麦「一休庵」

参加費 5,800円

定 員 7名 先着順（定員になり次第〆切ります。）

申し込み NPO法人ネイティブヘルス TEL 06-4802-6880 FAX 06-4802-6881

参加お申し込みの方に詳細をお知らせします。





## 第4回ネイティブヘルス台湾旅行3泊4日

日程 2018年11月12日(月)～15日(木)

航空会社 チャイナエアライン

ホテル 12日(月) 宜蘭：硝溪温泉ホテル

13日(火) 台南：エヴァグリーンプラザ ホテル(5☆)

14日(水) 高雄：ハワードプラザ ホテル(5☆)

参加費 113,000円

(給油サーチャージ、空港使用料、空港税込み、全食事付き  
旅行中の移動交通費(新幹線・タクシー等)、入館料、その他雑費全て含む)

行程(変更する場合があります)

第1日11月12日(月)

集合 7:15 関西国際空港 チャイナエアライン カウンター前

出発 9:15 発 CI0159 → 台北：桃園空港 11:35 着

空港より バスにて宜蘭へ(今回の旅行案内と台湾元交換)

宜蘭旧県庁長官(知事)官舎(西郷菊次郎邸※)

18:00 礁溪温泉ホテル着

夕食後温泉街散策(希望者は台湾マッサージ)



第2日11月13日(火)

8:40 ホテル発 宜蘭から台北へ(台鉄)

10:25 新幹線 台北 → 台南

12:00 彰化にて 昼食

13:00 烏山頭ダム・八田與一墓と記念館※

18:00 台南：エヴァグリーンプラザホテル着

20:00 台南夜市



第3日11月14日(水)

8:40 ホテル発 鄭成功旧城「赤崁楼」※

10:00 奇美美術館※

12:00 昼食(美術館内食堂)

13:00 新幹線 台南 → 高雄へ

14:30 ハワードプラザホテル着

15:30 美麗島記念館(美麗島事件=民主化運動受難者記念館)

18:30 夕食(バイキング)

20:00 六合夜市 または、台湾マッサージ(何れか選択)



第4日11月15日(木)

8:45 ホテル発 澄清湖 見物

地下鉄美麗島駅※

愛河クルージング

12:00 昼食

13:00 高雄空港へ

15:25 高雄発CI0176 →19:05 関空着、解散

《参考資料》

### ※西郷菊次郎

西郷隆盛の長子、奄美生まれ。愛伽那の子、長じて西南戦争に従軍、負傷投降後、隆盛の弟・西郷従道の支援を受け、米国留学、後台湾初代宜蘭県長(知事)となる。

### ※八田與一

1910年3月東京帝国大学工学部土木科を卒業後、台湾に赴任、総督府内務局土木科の技手となる。当初は後藤新平の指導により伝染病対策を重点に水道事業に取り組んだが、のち台湾の水利事情を調査し、毎年洪水で苦しんでいる南部の嘉南平野を潤すことを考え、構想を総督府に提案し、1920年工事を開始した。途中大事故があり、工事中断の苦境に遭い断念の危機にも直面するが、継続し10年の工期で1930年(昭和)5年)烏山頭ダムが完成した。年とともに16,000キロの水路が伸び嘉南平野全体を潤し、田畑の豊かな実りをもたらした。八田は1945年5月政府の要請でフィリピンでの水道事業調査に赴く途中九州沖で米国潜の雷撃により撃沈、戦死した。享年59歳。

その後1945年9月奥さまの外代樹さんは8人の子供を残して烏山頭ダムの湖水に夫君のあとを追った。台湾の住民は八田に感謝して生存中に銅像をつくることを望み八田の反対にも拘わらずこれを完成し湖畔に設置する。戦時中日本軍の金属回収の要請があったことと、戦後にも中華民国政府の排日思想による日本排斥の危険にさらされ、像の存続が危ぶまれることになるが、台湾住民は八田像を守るため秘匿することをきめ所在を隠すこととなる。1987年になり「そろそろ政府もうるさく言わないだろう」と判断して湖水の表に設置した。

毎年5月8日に八田與一記念祭が湖畔で執り行われている。

### ※奇美美術館

絵画、彫刻、楽器、武具、動物はく製など数多く保有する世界的美術館。奇美工業(世界最大のプラスチックメーカー)の創始者許文龍氏が自身の個人財産を投じて世界有数の絵画、ストラディヴァリウスのヴァイオリン等を収集、展示。(ストラディヴァリウスは日本の著名ヴァイオリニストにも貸与している)

### ※鄭成功

父は明国福建省生まれの鄭芝龍、平戸に来て日本人田上マツと結婚、1624年8月長男福松(中国名鄭成功)が生まれる。福松は7年間平戸に住み中国にわたる。長じて明国再興を期し兵を起こす。様々な功績により明の帝王隆武帝から国姓爺朱の名を受けたことから、国姓爺とも言われた。(日本では、「国姓爺合戦」として有名※)。1659年南京奪還に失敗し、台湾に移り、当時台湾を統治していたオランダ軍を討ち払い、台南のオランダ軍ゼーランジャ城跡に居城「赤崁楼」を築く。1683年までの22年間鄭氏三代の政権をつくる。鄭成功は62年に病死。息子の鄭経が継いだが3代目で滅んだ。

### ※国姓爺合戦

近松門左衛門が、鄭成功の活躍を戯曲化。浄瑠璃や歌舞伎では“和藤内”として登場。

### ※美麗島駅

世界第二の美しい駅と言われている。地上出口は日本人高松伸の設計。

「祈り」をテーマにした世界最大級(4,500枚)のステンドグラスはイタリアのステンドグラスアーティストの作品。

# ネイティブヘルス望年懇親会 1泊2日

毎年有馬温泉で開催していましたが、数年続きましたので、今年は、淡路島に致します。淡路島は、三宮から高速バスで50分、本数も多数ありますので、便利です。

月 日 2018年12月16日(日)～17日(月)  
会 場 ザ グランリゾートエレガント淡路島(温泉)  
兵庫県淡路市大磯9-3 TEL 0799-74-0200  
参加費 14,500円(1泊2食、2人1室)  
懇親会(会食)のみで日帰りは10,800円  
集 合 現地ホテル  
チェックイン15:00 チェックアウト11:00  
懇親会(会食)同ホテル内18:00～  
申し込み ネイティブヘルス TEL 06-4802-6880 FAX 06-4802-6881  
ホテル予約の都合上、なるべく早くお申し込み下さい。



## お知らせ

- ◎ 臨時休業 11月13日(火)14日(水)  
台湾旅行引率のため、勝手ながら臨時休業いたします。
- ◎ 年末年始休暇  
12月29日(土)～1月5日(土)
- ◎ 年末、食品等のご注文は12月28日(金)午前中までをお願いいたします。  
28日(金)午後のご注文は1月6日(日)の発送となりますので、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。



## あしがき

猛暑、集中豪雨、大型台風、地震と異常な夏でしたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。そのような中、よく晴れた日、出石に行ってきました。参加者14名。目的は愛宕の火祭り。伊福部神社の神事について、愛宕神社での火起こし神事には280段の階段を昇ります。当然私はパス。昔なら率先して昇るのに～と思いつつ麓で待っていると程なく山の樹々の間から火がちらほら。松明で麦藁束に点火されていよいよ手振りが始まりました。グループの中からも何人か勢いよく手振りをしていました、ぐるぐる疾走する火は、日常の雑事を忘れ敵かというか何か特別な感情を抱かせます。翌日は兵庫県最古の芝居小屋「永楽館」。舞台奥の化粧部屋、回り舞台やスポンの奈落の仕掛け等説明を聴き、僅か300名の客席を舞台上から眺めると二階席の奥まで見渡せます。以前、中村吉右衛門さんが金毘羅歌舞伎では、お客様の息づかいまで感じられると、言われていましたが、成程と実感しました。そして、実際にここでのお芝居を観たい！！

来年11月5日～1週間(予定)、片岡愛之助さんを座長とする歌舞伎が上演されます。演目が決まり次第チケットを手配しようと、今からワクワクしています。ご案内しますので、是非一緒に楽しみましょう。

酷暑でお疲れのおからだ、特にクーラーや冷たいもので弱っている胃腸を、菜食整腸で癒しにいらして下さいませ。ym